

鳥取市教育センター 「ひらがな音読支援」の取組



◆取組の概要と目的

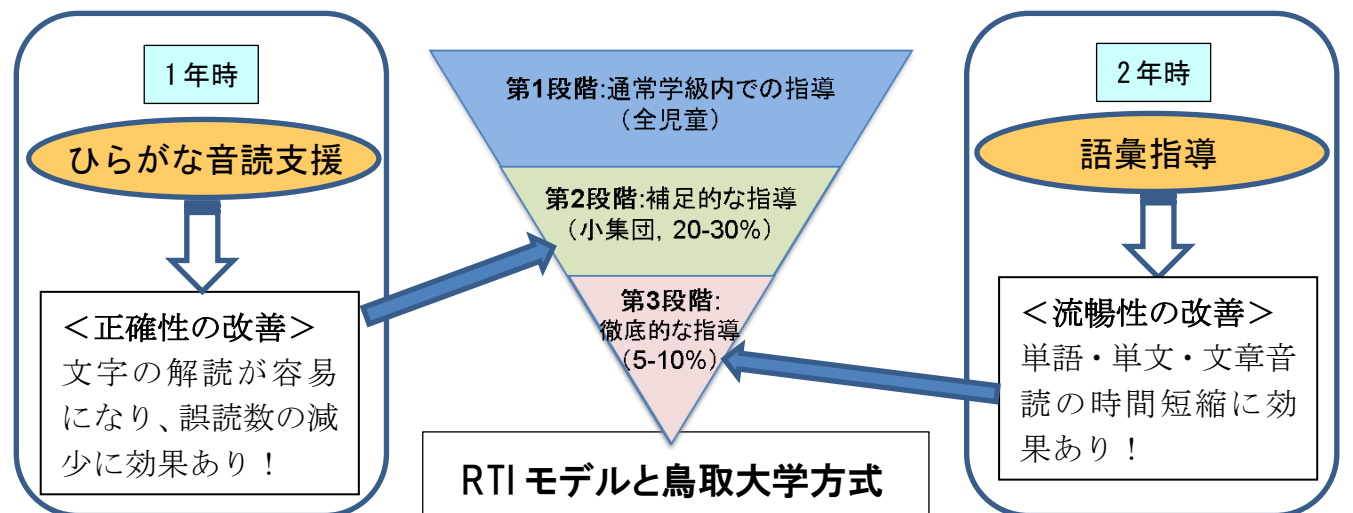
文部科学省「発達障がいの可能性のある児童生徒に対する早期支援事業（平成 26・27 年度）」（県からの委託事業）として、鳥取市全小学校 1 年生を対象に、「鳥取大学方式」を取り入れたひらがなの音読支援に取り組む。年 3 回の「音読確認」でひらがな読みの定着状況を評価し、各時期における基準に満たない児童に対して、タブレット等を使用した「音読支援」を行う。最終的に十分な効果が得られなかった児童については、2 年時で、鳥取大学が開発した「語彙指導」等、個に応じた支援を検討し、実施する。

この取組により、読みの苦手な児童が、学習への抵抗感を感じて自己肯定感を低下させる前に手立てを講じることで、学校不適応の未然防止や学力の向上につなげることをねらうものである。

◆鳥取大学方式とは？

鳥取大学では、LD の「読み」に焦点を当てて約 10 年前から調査を行い、2012 年より RTI(=Response To Intervention)モデルを活用した指導・支援を行ってきた。

RTI モデルとは、アメリカで取り入れられている学習障がいの判定方法の一つで、大部分の子どもに有効な指導・支援を行いながら伸びを評価し（第 1 段階）、効果を確認しながら支援方法を追加・更新していく（第 2・3 段階）というものである。

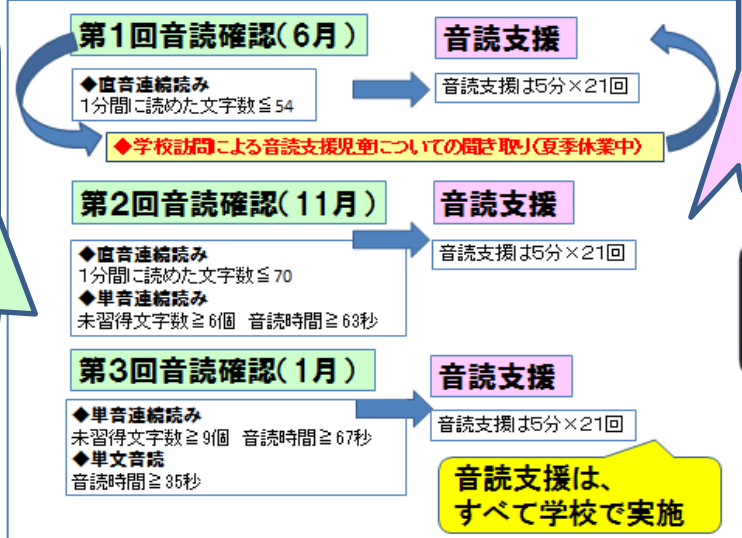


◆「音読確認」と「音読支援」の内容と実施方法

【音読確認の実施方法】

児童と教師が 1 対 1 で行う。確認シートを児童が音読し、教師が誤読や未読を記録する。1 人あたり 3～5 分必要。（全児童分の記録シートは、鳥取市教育センターに提出する。教育センターと鳥取大学が連携して、一人一人の伸びを追跡する）

多くの学校が 1 年生担任だけでなく、学校の協力体制を整え、実施場所や時間等、工夫して取り組んでいる。



【音読支援の実施方法】

音読確認で基準に満たなかった児童と教師が 1 対 1 で行う。タブレット等にランダムに表示される文字を児童が音読し、教師が評価する。1 回 5 分を 21 回行い、鳥取市教育センター作成の「がんばりカード」に記入する。（終了したら、教育センターにカードを提出する）



夏季休業中、タブレットや PC、スマホで取り組まれた家庭もあった。

◆平成 26 年度の取組より

①結果

平成26年度「ひらがな音読支援」結果概要 H27. 3. 24

回数	実施者数	改善者数(改善率)	要支援者数	支援率
1回目(6月下旬) 直音連続読み	1, 692人		147人	8.69%
2回目(11月上旬) 直音連続読み 単音連続読み	1, 695人	改善者: 85人 57.82%	131人 継続支援者: 62人 新規支援者: 69人	7.73%
3回目(1月中旬) 単音連続読み 単文音読	1, 695人	改善者: 98人 74.81%	62人 継続支援者(2・3回): 33人 (1・2・3回): 33人 再支援者(1・3回): 7人 新規支援者: 22人	3.66%
3回目(再確認) 単音連続読み 単文音読		改善者: 118人 90.91% (タブレット支援を行った 22名の改善率)	42人 継続支援者: 33人 再支援者: 7人 最終支援者: 2人	2.48%

②アンケートより (44 校)

★大いに役立った 13 校 ★役立った 30 校

【音読確認について】

- 実態把握ができた。
- 保護者に定着状況を理解してもらえた。
- 取組を意識し、授業改善に役立てた。
- ・時間の確保(2 時間の欠時)

【音読支援について】

- 早い段階で支援したため、ひらがなの読みが定着した。
- ・1人5分間、21回は時間確保が難しい。
- ・家庭での協力も検討すべき。

42 名のうち 9 名は 2 年時から特別支援学級へ、1 名は通級指導教室へ入級した。29 名は鳥取大学が開発した「語彙指導アプリ」を使用した支援を行うこととなり、現在取り組んでいるところである。(残り 3 名は学校独自の支援を行っている)

最終支援者 42 名については、鳥取市教育センターと鳥取大学で学校を訪問し、聞き取り調査（認知・行動特性、文部科学省の調査票「L 票」を使用した聞き取り）を行った。



<保護者向けパンフレット>

③成果と課題

- 第 1 回目の支援者 8.69% が、最終的に 2.48% に減少し、多くの児童の読みが改善された。
- 課題としては、各校、時間の確保に苦慮されていることである。
- ※27 年度、各校に行うアンケートをもとに、28 年度の取組をさらに改善し、鳥取市の子どもたちの読みの力を向上させたい。

実施日（ 年 月 日） 学校名（ ）
（ ）組（ ）番 性別（男・女） 生年月（ 年 月） 利き手（右・左）

1. 直音連続読み検査（読飛ばし✓、読み誤り×、自己修正△）

すべての項目
を記入してくだ
さい。

41		31		21		11			
わ	べ	ぶ	ゆ	る	お	は	ぺ	け	ぱ
す	み	む	で	ぽ	せ	め	や	ぜ	て
た	ざ	だ	あ	き	げ	び	ぎ	ろ	か
ぷ	よ	ほ	が	の	ふ	つ	こ	ん	を
ち	ぞ	ら	く	ち	ど	づ	ひ	れ	う

91		81		71		61		51	
え	ぐ	せ	な	わ	に	ご	ぬ	へ	ぼ
こ	れ	だ	ば	を	げ	ね	ず	し	そ
び	ぽ	り	す	め	む	じ	さ	え	も
た	ち	ぶ	ら	ず	み	ま	な	ば	り
や	う	ま	べ	お	ど	ぐ	と	い	ぴ

141		131		121		111		101	
を	ろ	そ	ふ	あ	ほ	か	は	ぢ	へ
う	ひ	ね	ぎ	ぬ	つ	も	ぎ	き	よ
け	ぱ	ぞ	と	ぱ	じ	ぜ	に	ぺ	ご
ぜ	て	さ	ん	し	く	て	が	ゆ	け
ろ	か	ぼ	び	で	づ	ぶ	る	の	い

1分以内に読み終わった場合は時間を記録（ 分 秒）

・直音連続読み検査（まとめ）

	1分間に 読んだ文字数(A)	誤読数(B)		自己修正△	1分あたりの 文字数(A-B)
		読み飛ばし ✓	読み誤り ×		
合 計					

実施日（ 年 月 日） 学校名（ ）（ ）組（ ）番

2. 単音連続読み検査

記入もれのないよう
に注意してください。

は	びょ	げ	い	りゅ	ぴ	ぜ	じょ	と	よ
みょ	て	ぴゅ	お	ぼ	によ	え	ら	にゃ	ず
ぬ	ぎゃ	む	びゃ	じゅ	か	きゅ	ちゅ	そ	ぎゅ
し	ぐ	しゃ	きょ	つ	ひゅ	さ	ぺ	しよ	に
ちゃ	の	が	ま	ぷ	じ	りゃ	れ	く	ぴゃ

㊟	読み飛ばし→確認では読める
⊗	読み誤り→確認では読める
△	自己修正
㊤	読み飛ばし→確認でも読めない(未習得)
×	読み誤り→確認でも読めない(未習得)

音読時間（ ）秒

読み飛ばし（ ）個

読み誤り（ ）個

自己修正（ ）個

未習得（ ）個

※ 習得、未習得とは関係なく、『読み飛ばし』、『読み誤り』は、確認する前の数を書いてください。

「音読指導プログラム」の使い方

スマートフォン・タブレット (Ipad) にダウンロードすると、どこでも使えて便利です。次の手順で操作を行ってください。(無料です!)

★スマートフォン・タブレット (Ipad) にダウンロードする
単音直音統合版アプリをインストールする。

○iPhone・iPad の場合は、「App Store」

アンドロイドの場合は、「Play ストア」「Google Play」から、
「鳥取大学」を検索する。

→「ディスレクシア音読指導アプリ 単音直音統合版」を選んで
インストールする。



※この統合版は、web サイトへのユーザー登録も不要で、単音・直音が統合され、10人までのユーザーが利用可能なバージョンが公開されています。「Google Play」「App Store」からアプリをダウンロードしてください。

※ただし、これまでにアプリのダウンロードを行ったことがない方は、「App store」、または「Play ストア」等のユーザー登録が必要です。

下の単語版のアプリもダウンロード可能です。



Ipad の場合、機内モードにしておく、そのまま利用可能です。
スマホによっては、単語版は、ここから、ホームページにリンクして登録作業を行います。

ディスレクシア
音読指導プログラム

ログインID

パスワード

ログイン

IDとパスワードを入力して
「ログイン」ボタンをタップ
してください。

ホームページ



※パソコンで、「鳥取大学 ディスレクシアのページ」からダウンロードして使用することも可能です。ただし、機種によっては、できないこともあり、現在製造元で調整中です。

使い方の留意点

◆指導する大人が○、×を判断して押すようにしてください。

○→音声が出るまでに読めた場合

×→読めない場合 または 音声が先に出た場合

◆アプリは、1日1回、5分間の音読指導プログラムです。1日1回しか、練習できません。
3回正当した文字は消去されていくので、上達すると5分より短くなっていきます。

◆利用者の「結果」から詳細履歴を確認することができます。

◆プログラムが終了したら、ユーザー名を変更してユーザー追加し、練習を繰り返してください。

◆ネットワークに接続せずに使用します。(Ipad の場合、機内モードで使用)



一歩ずつ階段を上がるように力がついていきます。がんばりましょう。

小学校1年生の
保護者の皆様へ

健やかな成長を応援します!

「ひらがなが読める」ことは、小学校1年生にとって、とても大切な力です。そして一生の学びを支える学力の基礎となります。鳥取市は本年度も、全小学校で「ひらがな音読支援プログラム」(鳥取大学方式)を取り入れた音読支援に取り組みます。保護者の皆様と学校とが連携し合って、お子様の学校生活をより楽しく豊かなものにしていきましょう!

ひらがな音読支援の効果を上げるのは、**ご家庭での本の読み聞かせ**です。本を通じてことばにふれることが、学力につながります。



読めると、いいことたくさん!

言葉の意味が分かる
ようになります。

文章がすらすら
読めるように
なります。

授業がよく分かり、
学ぶことが
楽しくなります。

読書が好きになり、
学びが広がります。

学校って
たのしいな!

ぼくも
よめるよ!



ひらがな音読支援(鳥取大学方式)

この音読支援では、年3回(6月・10月・1月)音読確認を行い、読みにつまずきの見られた児童を対象に、タブレット端末を使用した音読支援を各21回行います。

音読支援の方法については、支援を受けられる際に、学校よりお知らせいたします。



平成26年度はこんな成果が見られました

- 読めない文字や読み誤った文字を集中的に強化し、多くの児童の読みを改善することができました。
- 単語をとらえて読む意識が高まり、読むスピードアップにつながりました。



鳥取市教育キャラクター
「黒板ケンオくん」

平成 2 7 年 6 月 〇 日

1 年生の保護者の皆様

鳥取市教育センター所長 松田 晃一
鳥取市立〇〇小学校長 〇〇 〇〇

「ひらがな音読確認（鳥取大学方式）」実施について（お願い）

鳥取市では平成 2 6 年度より、市内全ての小学 1 年生を対象に「ひらがな音読支援」（鳥取大学が開発したプログラムを取り入れた音読支援）に取り組んでいます。これは、年 3 回の音読確認を行い、支援の必要なお子さんを対象にタブレット等を使用した音読支援を行うものです。

ひらがな読みの習得は 1 年生にとって重要な課題であり、一生の学びを支える学力の基礎となるものです。この取り組みは、読みの困難さを早期に発見し、支援することで、就学初期の段階での読みのつまずきを小さくし、その後の学力不振や学校不適應の未然防止の一助とすることを目的としています。

この取り組みを通して、児童の音読能力の改善や学習意欲の向上を図り、学校生活がより楽しく、生き生きとしたものになるようにしていきたいと考えています。

つきましては、下記のとおり第 1 回目の音読確認を実施いたします。この取り組みの趣旨並びに実施へのご理解、ご協力をお願いいたします。

記

【音読確認実施について】

- | | |
|-------|--|
| 1 日 時 | 第 1 回目 平成 2 7 年 6 月 〇 〇 日（曜日） 〇 校時 |
| 2 方 法 | 各学校で個別確認（1 人当たり所要時間 2 ～ 3 分程度） |
| 3 内 容 | 1 分間でひらがなカード 1 5 0 文字中何文字読めるか |

【その他】

※音読確認後の音読支援については、支援を行うお子様についてのみ、保護者の方に個別にお知らせいたします。

※2 回目、3 回目の音読確認については、その都度お知らせいたします。

※この取り組みはひらがなの読みを支援するものです。学校及び学級別、並びに個人の確認結果は一切公表いたしません。

平成27年7月〇日

様

鳥取市教育センター所長 松田 晃一
鳥取市立〇〇小学校長 〇〇 〇〇

ひらがな音読指導の実施について

先日、文書及びパンフレットでお知らせしましたとおり、鳥取市では、「ひらがな音読支援（鳥取大学方式）」に取り組んでおり、先日、1年生を対象に第1回目の「ひらがな音読確認」を行いました。

今回の確認で、お子さんは、よりていねいにひらがな読みの練習をされた方がよいとの結果が出ました。お子さんのひらがな読みの力が向上するよう、下記のとおり音読指導を行いたいと思いますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

記

- 1 使用する教材 「鳥取大学方式ひらがな音読指導プログラム」
- 2 指導期間 1日1回5分間で、21日間実施
(夏休み前に実施できなかった分は、夏休み明けに行います。)
- 3 実施場所 学校
- 4 その他
※ひらがな読みは、学校だけでなく、ご家庭での取り組みが非常に重要です。夏休み中も、教科書の音読練習、保護者の方による読み聞かせ等を継続することで、ひらがな読みや言葉の力を高めることにつながります。ご家庭での協力を是非お願いいたします。(がんばりカードを担当の先生に提出してください。)

※「鳥取大学方式ひらがな音読指導プログラム」は、ご家庭でも使用することができます。ダウンロードの仕方は、別紙のとおりです。無料ですのでご活用ください。